

厚労省 妊娠・出産相談事業 専用LINEシステム

厚生労働省は来年度の概算要求で、
若年妊婦等支援事業【新規】として
SNSを活用した支援策を予定しています。

現在、富山県庁とLINE社が全国に先駆けて、
先行モデルの試行を実施中です。

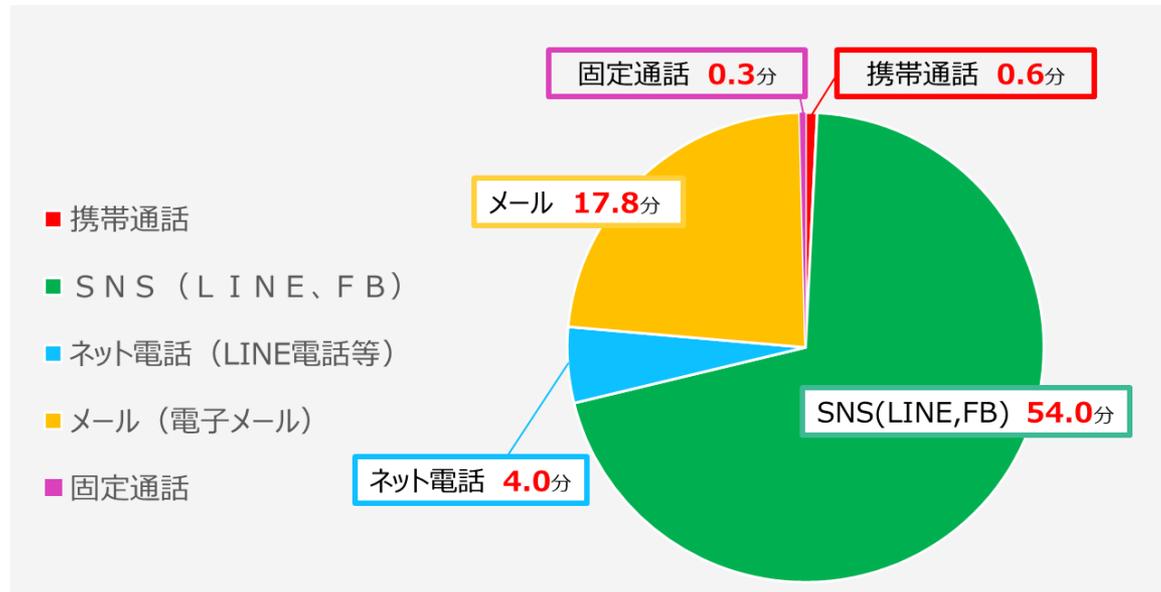
厚労省 妊娠・出産相談事業
専用システム

<http://nav.cx/oKWMJoM>

QRコードを読み込んでください →



相談事業の最大論点 若者たちの「電話からLINEへ」



うちの自治体は若者が
ほとんど使っていない
「電話」だけでいい

今の実情にあわせて、
若者が使っている
LINEでも相談を



若年妊婦等支援事業【新規】～不安を抱えた若年妊婦等への支援～

(令和元年予算) (令和2年度要求額)
0百万円 → 1・598百万円

- 予期せぬ妊娠などにより、身体的、精神的な悩みや不安を抱えた若年妊婦等が、身近な地域で必要な支援を受けられるよう、**SNS等を活用した相談支援**等を行う。
- 若年妊婦等への支援に積極的で、機動力のあるNPOに、アウトリーチや若年妊婦等支援の業務の一部及び全てを委託するなどにより、様々な地域の実情に応じた若年妊婦等への支援を行う。
- ◆ 実施主体：都道府県・指定都市・中核市 ◆ 補助率：国1/2、都道府県・指定都市・中核市1/2

<事業イメージ>

地域における継続的な支援

【地域における継続的な支援】

- 福祉事務所、児童相談所、婦人相談所、子育て世代包括支援センター、要保護児童対策地域協議会等と調整し、地域における継続的な支援へつなげる。

母子生活支援施設等

【長期間の居場所の確保】

- 長期的にケアが必要な若年妊婦等に対して、出産・子育てが安定して行える環境が整うまでの居場所の確保を支援する。

都道府県・指定都市・中核市



女性健康支援センター

- 保健師等による、より専門的な相談（電話相談・窓口相談等）
- ※ アウトリーチや**SNS等を活用した相談支援**など、機動力を活かした相談支援についてNPOに委託して実施。



◆ 補助単価 (案)

- ・ 相談等：月額357,600円
- ・ 夜間・休日対応：月額53,000円
- ・ 産科同行等対応：月額1,719,800円

※ 本事業の取組を女性健康支援センターが行う場合は「女性健康支援センター事業」により補助(月額1,564,500円)

連携・バックアップ



新 地域のNPO

- **コーディネーターの配置**：居場所の確保や地域の関係機関との調整
- 相談しやすい体制の整備：**アウトリーチやSNS等による相談支援**
- 特定妊婦等に対する産科受診等支援
- 次の支援につなげるまでの**緊急一時的な居場所の確保**
- 継続的な相談支援

緊急一時的な居場所

産科同行支援

アウトリーチ & キヤッチ

連携・紹介

連携・紹介

子育て世代包括支援センター

- 地域のNPOと連携し、悩みを抱える若年妊婦等を、継続的かつ専門的な支援へと繋げる。

相談

悩みを抱える若年妊婦等

富山県庁&LINE 妊娠・出産相談事業の試行

1 趣旨

妊娠・出産に対する不安や、思いがけない妊娠や経済的な問題など、様々な理由で妊娠や出産について悩んでいる方に対し、心身ともに不安定になりやすい妊娠期を健やかに過ごし、安心して出産できるよう、専用の相談ダイヤルを設置しているが、出産年齢の若年層がより相談しやすい体制を構築するため、いじめ相談、自殺相談などで実績のある「LINE」による相談窓口を開設する。

2 事業内容

(1) LINE相談窓口の設置

現在、電話相談を受けている専門カウンセラー等がSNSを利用した相談受付のスキルを学び、下半期の開設を目指す。また、開設にあたっての事前準備及び広報も併せて委託する。

○相談日時 下半期の6ヶ月

火・木・土 9:00~13:00

水・金 14:00~18:00(返信時間予定)

○相談対応 専門カウンセラー・助産師

※事前にLINEの操作研修、SNS相談研修を受講してもらう

○事前広報 PRカードを県内産婦人科、学校、ショッピングセンター等で配付

○委託先 NPO法人ハッピーウーマンプロジェクト
(富山県女性健康相談センター・
不妊相談センター 受託法人)



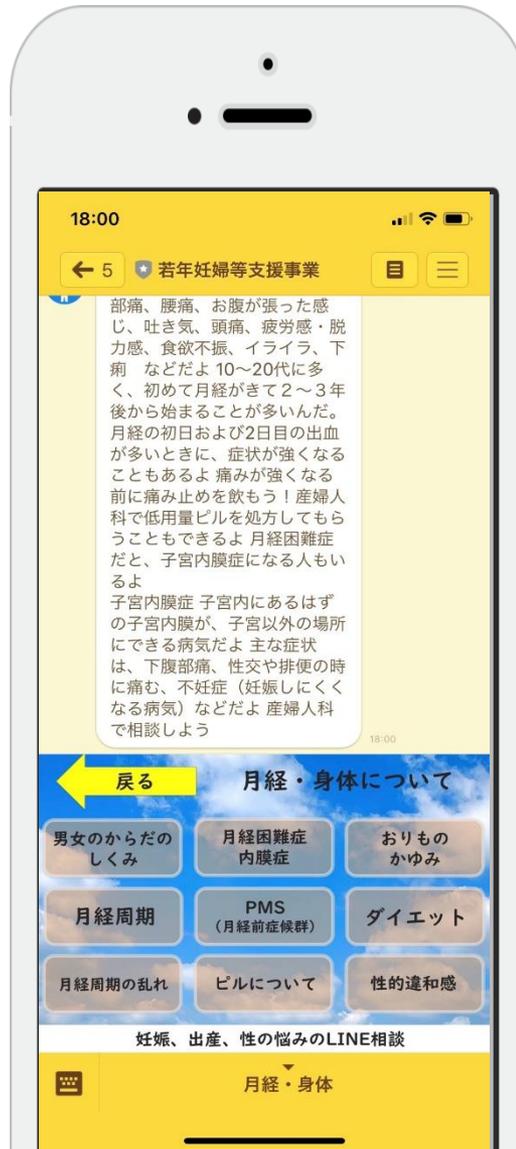
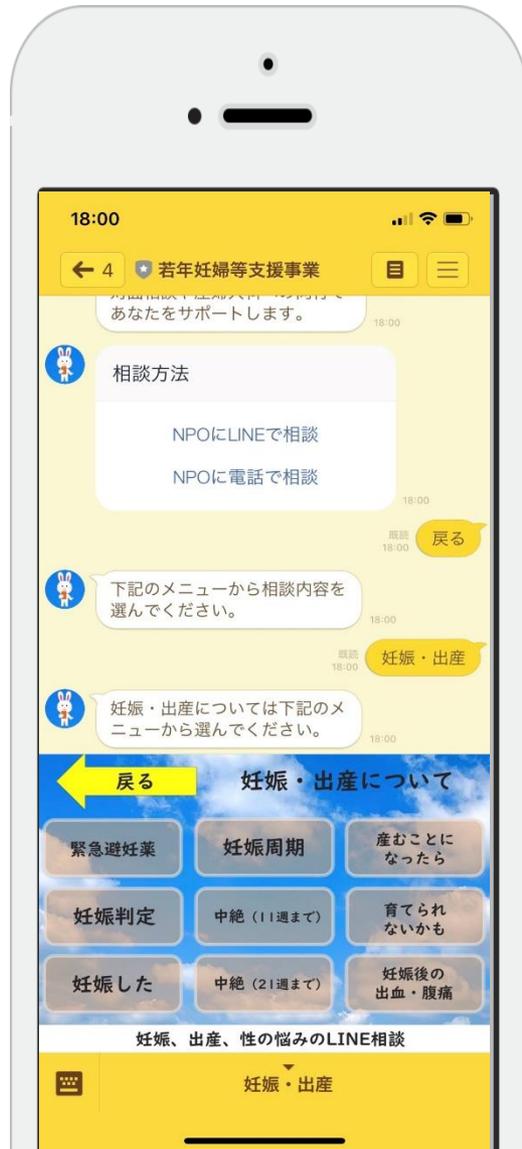
厚労省 妊娠・出産相談事業 専用LINEシステム



QRで読み込んで試してみてください。



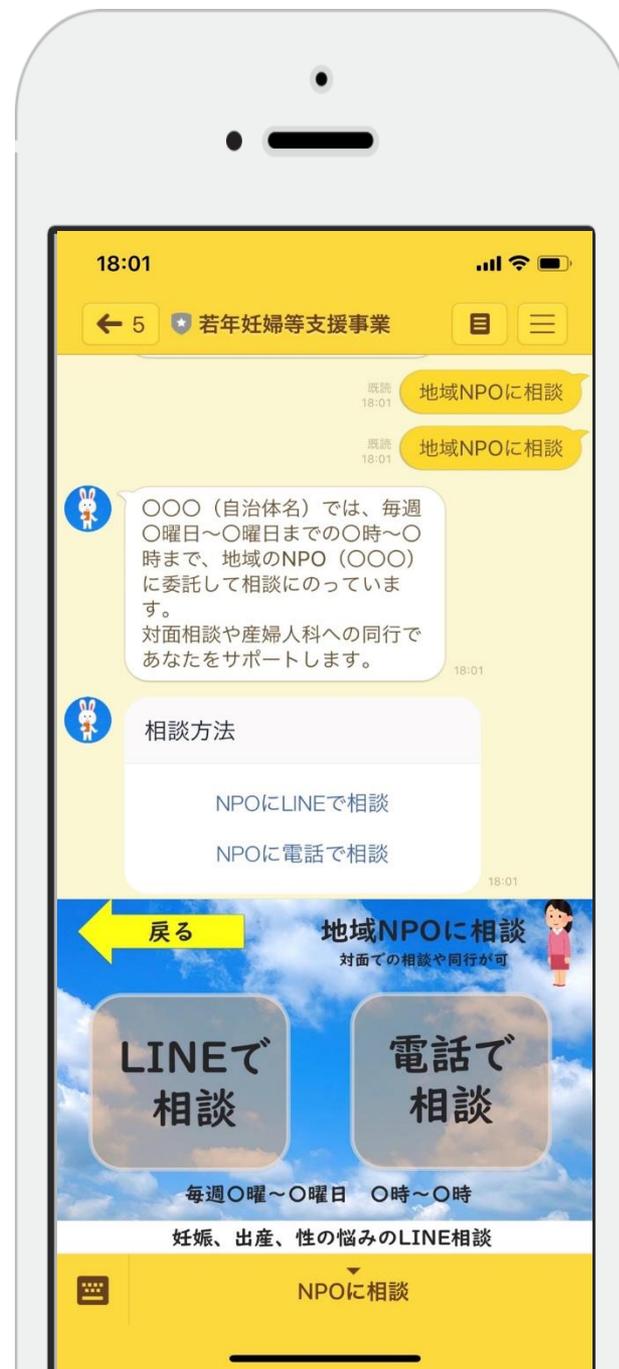
①LINE-Botで相談



②地域NPOに相談

相談の曜日や時間帯などは、予算に応じて各地域のNPOの方々と相談してください。

- ・LINEで相談
相談時間内であれば、登録した相談員のスマホが震えてLINEにつながります。
- ・電話で相談
相談用の電話につながります。



③看護師に相談

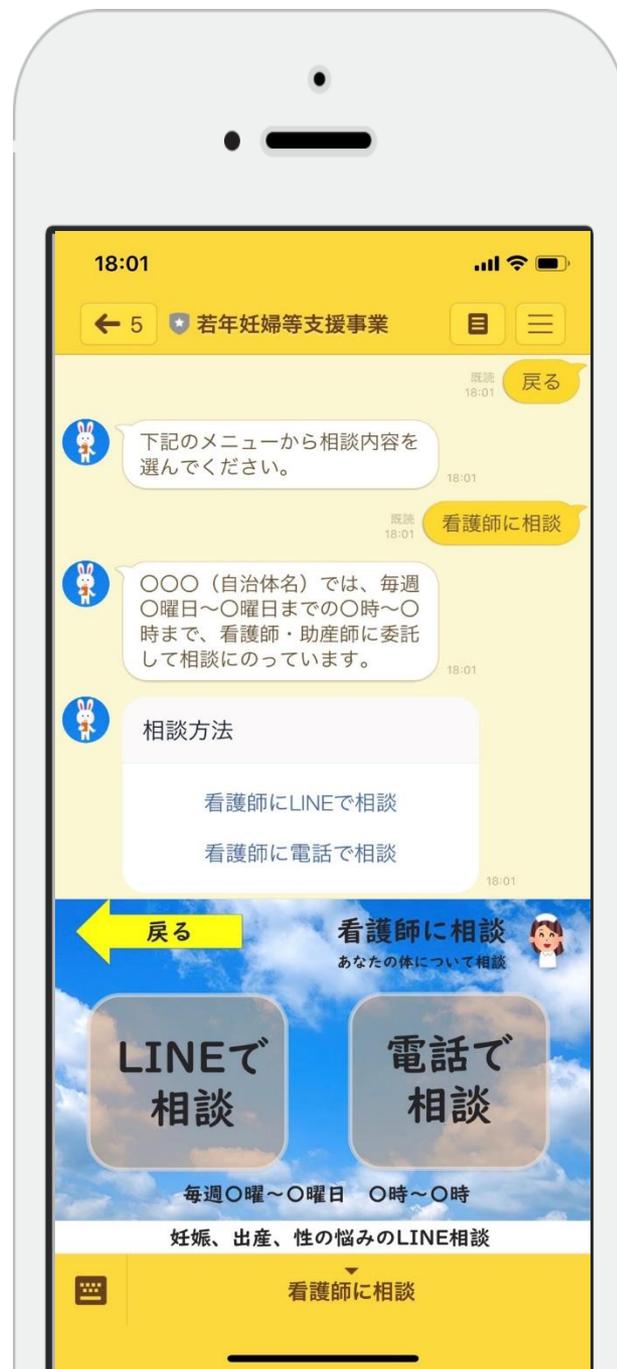
ダイヤルサービス株式会社

<https://www.dsn.co.jp/>

において、各自治体の相談をまとめて受ける
看護師を複数名、確保しております。

- ・LINEで相談
- ・電話で相談

相談の曜日や時間帯などは、予算に応じて各地域の
NPOの方々と相談してください。

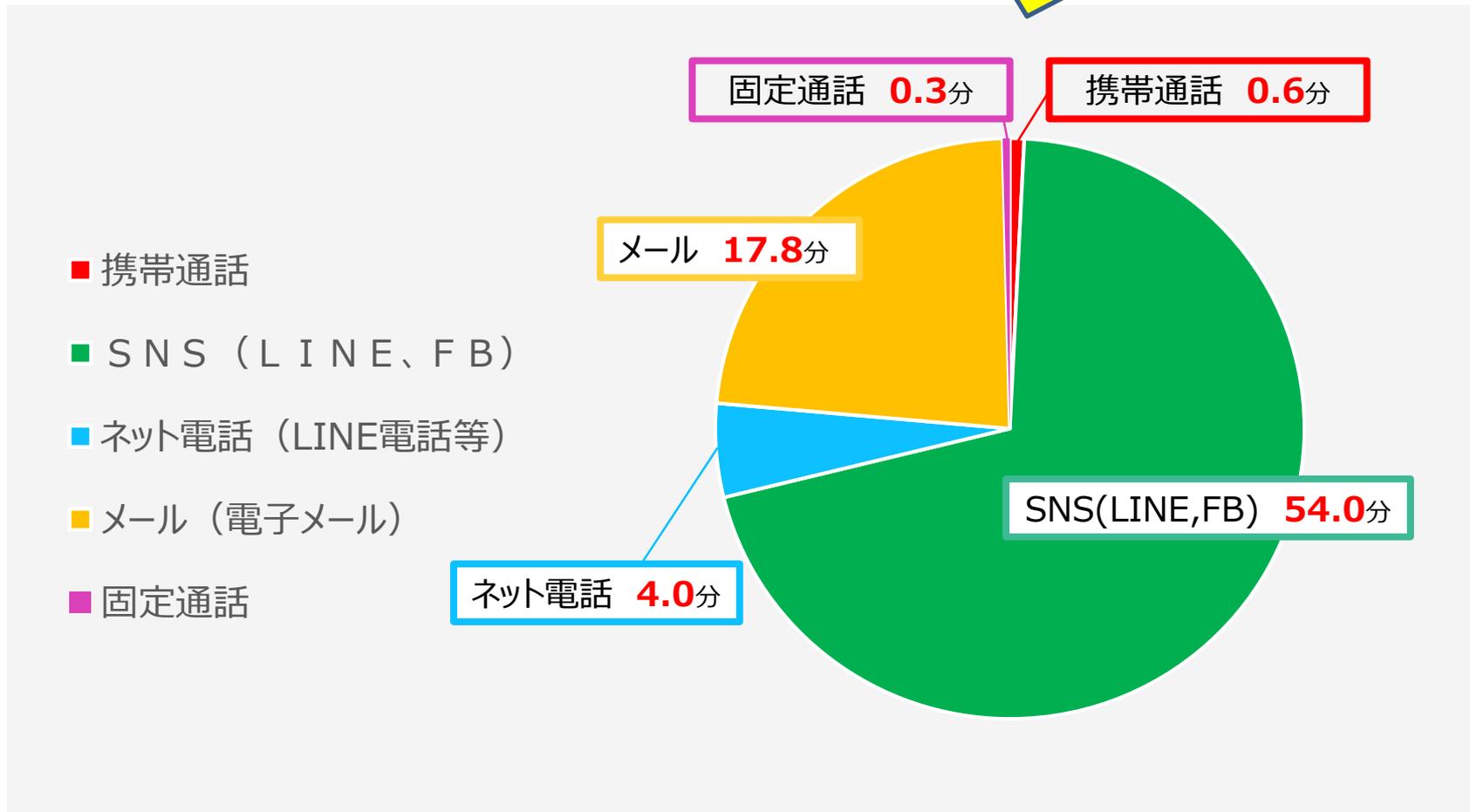


參考資料



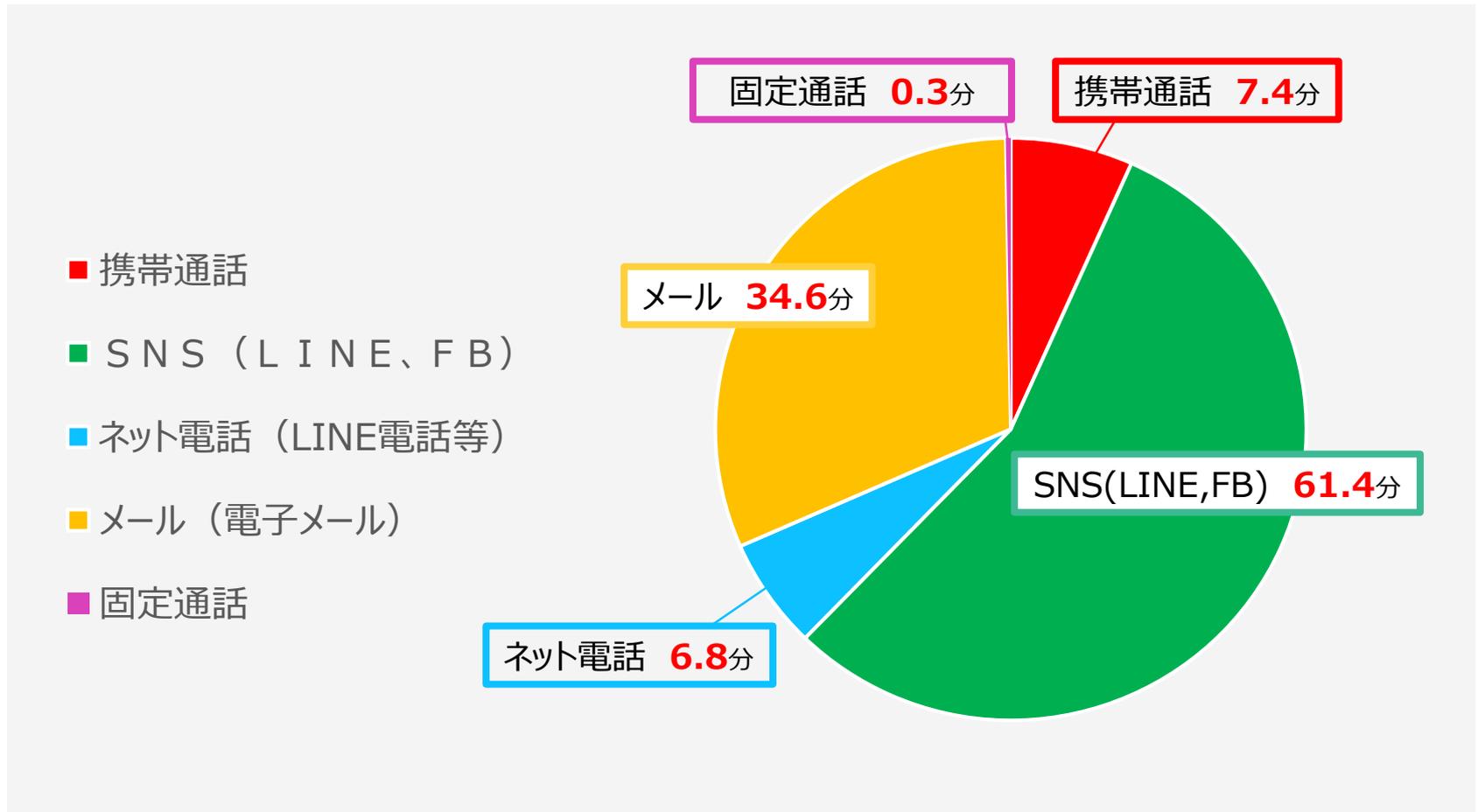
総務省 10代のコミュニケーション時間

電話からSNSへ



総務省 平成29年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書<概要> P10 より引用
http://www.soumu.go.jp/main_content/000564529.pdf

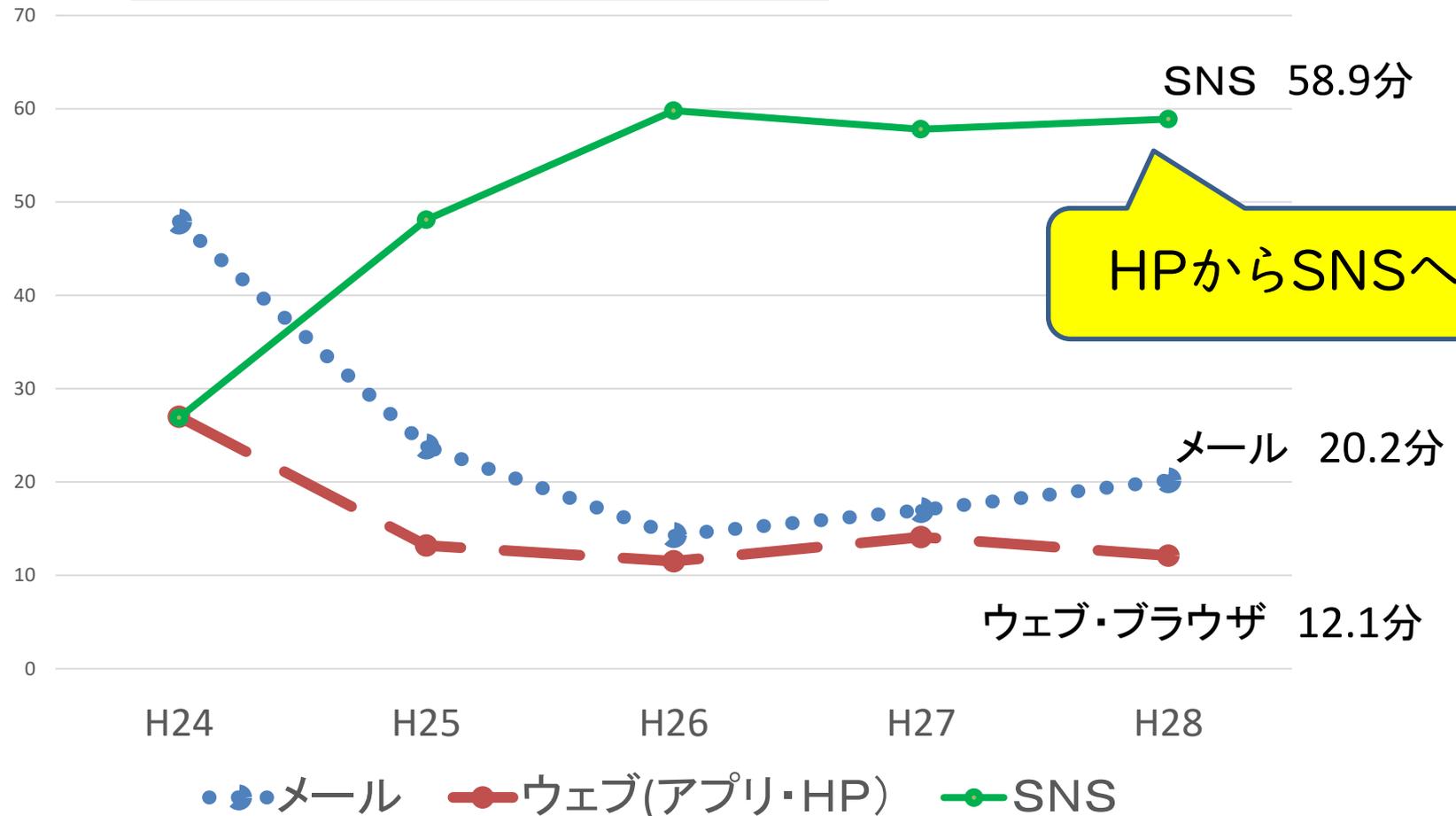
総務省 20代のコミュニケーション時間



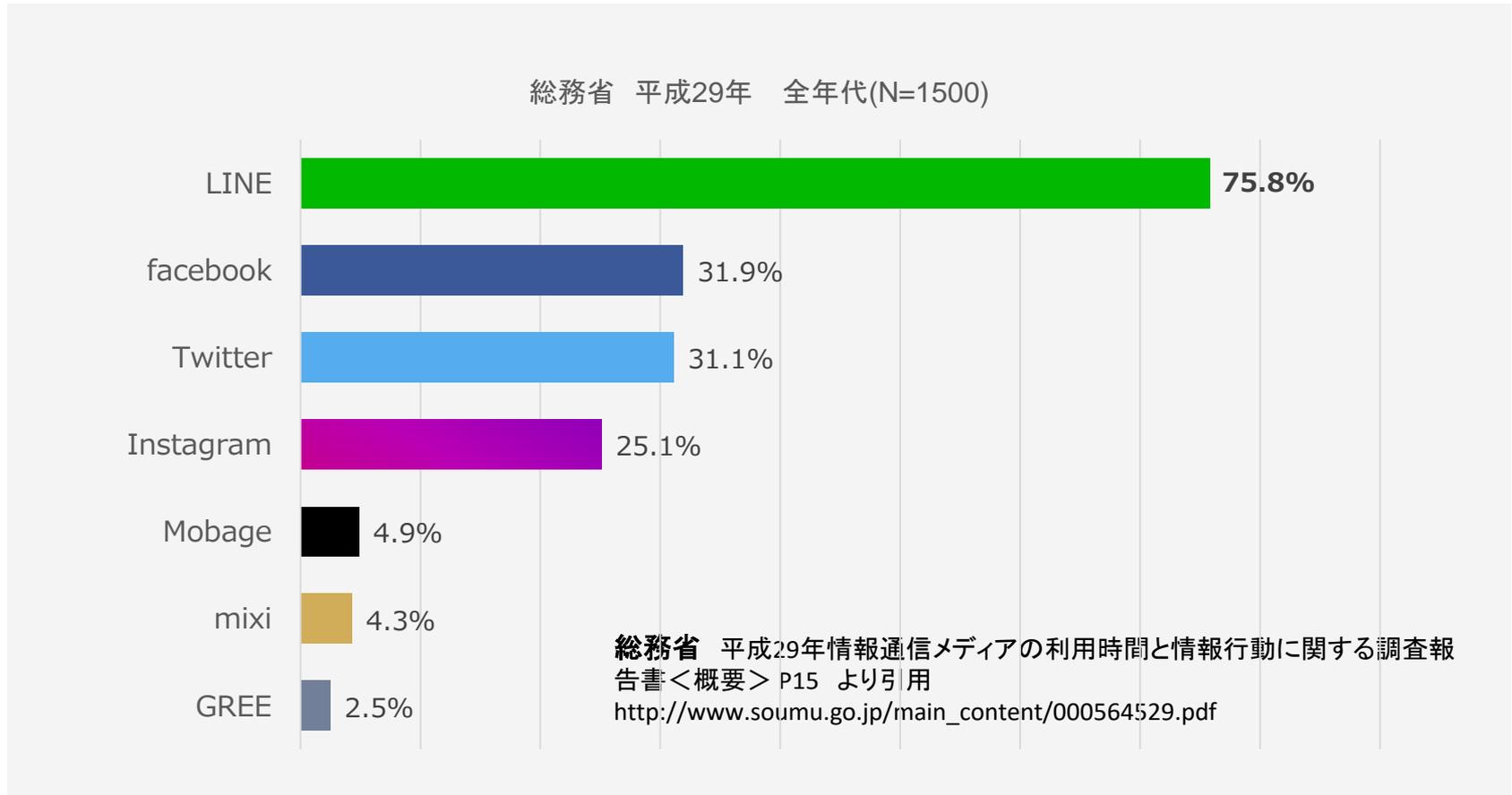
総務省 平成29年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書<概要> P10 より引用
http://www.soumu.go.jp/main_content/000564529.pdf

若者「ウェブ」からSNSへの変化

インターネット利用時間(総務省、10代)



SNSのユーザー比率（総務省統計）



現行の厚労省「育メンプロジェクト」は、高齢者に多いFacebookなどを活用。
子育て世代で最も使われるLINEを使っていないため発信力が課題と言われる

LINEのセキュリティ①

LINE株式会社及び主要子会社では、国際的に最も広く活用されている情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の国際規格である、ISO27001 認証を取得しています。JIS Q 27001 (ISO/IEC 27001) は、組織が自社で保護すべき情報資産を洗い出し、各情報資産に対して機密性 (Confidentiality)、完全性 (Integrity)、可用性 (Availability) をバランスよく維持し、改善していくことを可能にする仕組みを構築することを目的とした規格です。

また、LINEは個人情報関連サービスに関する内部統制の国際認証SOC (Service Organization Control) 2、3 (及びSysTrust) を世界で初めて同時に取得いたしました。SOC2、SOC3認証は、顧客情報が第三者による不正アクセスから安全に保護されていることを証明するものであり、提供するサービスそのものの安全性だけでなく、運営する組織、管理システム、プロセスなど、総合的な内部統制について、ユーザーにサービスの信頼性を保証するものです。



LINEのセキュリティ②

LINEは、ユーザ間のトーク内容に対して、通信経路で暗号化が施されています。また、ユーザ間トーク内容のうち、テキストメッセージ、位置情報、1対1のVoIPのメディアストリーム(音声とビデオ)は、LINEのLetter Sealing エンドツーエンド暗号化 (end-to-end encryption, E2EE) を用いて暗号化されています。Letter Sealing は、第三者のみならず当社のサーバー管理者であっても、通信上及びサーバー上でのメッセージ内容を閲覧することは出来ないことを保証します。

暗号化通信とLetter Sealing は、標準的な暗号化アルゴリズムを採用しています。

また、LINEのユーザー情報のうち、当社の定める主要な個人情報(電話番号、メールアドレス、パスワード等)は全て暗号化の上保管され、その管理状況を定期的に点検しています